



六が夢中！

発行 近隣中学校代表
野田市立第二中学校
第6号
令和6年11月29日

『二中の紫桜祭（文化祭）！？』

先月は、体育祭について話をさせていただきました。今回は、二中の4大祭の紫桜祭（文化祭）についてのお話です。

二中の紫桜祭では、午前の部に「合唱コンクール」を行いました。小学校では「歌声発表会（など）」という名の行事がそれにあたるのではないかと思います。各学級や学年で音楽を楽しみながら、発表しあい、お互いを高めあい、豊かな感性や心を育むといったところでしょうか。

中学校の合唱では、ソプラノ・アルト・テナー・バスの4つのパートに分かれ、さらに難しくなります。しかし合唱を通して各学級の団結力や絆を深めたり、うまくいかないことがあっても最後まで目標に向けてあきらめずに努力することなどを目的に、「最優秀賞」を目指します。ちなみに今年の3年生は4クラスすべての学級が、アカペラの難しい合唱曲を披露し、1組が「最優秀賞」を受賞しました。

「しかし」「なぜか」うまくいかないことが多いんです。なかなか音がとれなかったり、パートのバランスが、ハーモニーが、強弱が・・・だんだん暗い雰囲気になり、学級はまとまるどころか、気持ちがバラバラになってしまい、指揮者やピアノ伴奏者の頑張りも・・・。

さて、そんな時「あなたならどうしますか？」

何でも人のせいや、まわりのせいにしてしまえば、あきらめもつくし、しかたがないと自分自身をなぐさめることもできます。でも、それで本当によいのでしょうか。

でもね、それをすべて乗り越えて、一人一人の頑張りと学級の団結力で素晴らしい合唱をクラスで作り上げたとき、今までにない達成感や周りの人たちに「感動」を与えることができます。そしてその喜びは、大人になってもいつまでも忘れずにいることでしょう。

だから「学校行事」があるのです。行事を通してつらいことも、頑張らなければならないことも、自分の思いどおりにならないことも、それをすべて打ち破って物事を成し遂げたときの喜びと感動、そしてその経験が自信となり、将来自分の人生にとっても役に立つことと確信しています。

今年一年間、最高学年として頑張っている皆さんだから、中学校でどんな困難なことに出くわしても大丈夫。今を大切に、何があろうとも前向きに全てを受けとめて、自分のできることを、今しかできないことを、自分を信じて頑張っていきましょう。（第二中学校 校長 石垣）

☆指揮者からのメッセージ『合唱コンクールを終えて』です。（出身小学校・名字イニシャル）

中学校最後の合唱コンクールを終えて私は、「結果は賞を取ることはできなかったけれど、身近なところに仲間がいたからこそ頑張ることができた。」と感じました。私は、もともとクラスの中でも歌が上手な方ではありませんでした。そのため、練習の時からミスをしてしまい、焦りを感じることも多くありました。しかし、そこで私を支えてくれる仲間がいたからこそ、諦めずに最後までやり切り、本番ではミスをすることなく歌うことができました。私はこの合唱コンクールで、歌が少しくまくなることよりも、仲間に助けをもらい、協力し合い、歌いきることが大切だと感じました。これからも仲間を大切にしたいと思いました。（宮崎小・S）

私は、今回の合唱コンクールで、指揮者と曲の紹介をしました。私は、今まで指揮をしたことがなく、最初は全くできませんでした。しかし、諦めない気持ちが実を結び、本番ではみんなの歌声とぴったり合い、素晴らしい合唱になりました。

次に、クラスの曲紹介では、友人と一緒に発表しました。私が指揮者だったこともあって、少し任せっきりになってしまうことがありました。しかし、友人は優しい言葉をかけてくれ、指揮の応援までしてくれました。そのため、私は今回の合唱コンクールで、人と協力すること、頼ること、諦めないことの大切さを知ることができました。（宮崎小・K）

中学校最後の合唱コンクール。最初で最後のアカペラ合唱でした。私たち3年2組は、「レモンイエローの夏」という3年生で一番難しい曲に挑戦しました。どんなに難しくても、上手にいかなくても最後まで諦めないと決めて指揮をやりました。最後の合唱コンクールだったので、最優秀賞と指揮者賞を絶対にとるという目標を持って、クラスの人々と練習に励みました。しかし思ったよりクラス全体がまとまらず、他のクラスとの差が目に見えてきて心配が高まりました。

そして本番では、みんな気合いが入っていましたが、私はすごく緊張していました。合唱前にみんなとの円陣で元気が出て、自信を持って最後までやり切ることができました。終わった後は、みんなが笑顔だったので、私も嬉しい気持ちになりました。結果は、優秀賞で目標には届かなかったけれど、クラスの人々が喜んでいたので良かったです。みんなで協力して一つのものを作り上げる行事は、中学校で最後だったので、少し悲しいですが、すごく楽しかったです。（中央小・K）

3年生の私たちにとっては最後の合唱コンクールでした。どのクラスも賞を取るために一日一日の練習を大切にしてきました。

どのクラスもみんな上達していて、どのクラスが賞を取るかわかりませんでした。本番、いろいろなことがあって不安でしたが、賞を取ることができてうれしかったです。（宮崎小・K）

今年の学年合唱は、「郷愁歌」を歌いました。みんなと合わせて練習する機会が少なく、焦りを感じました。それでも、より良い学年合唱にするために、指揮者と何度も練習しました。

緊張しながら臨んだ本番。伴奏者としての不安はありましたが、みんなに支えられて頑張れました。中学校生活最後の合唱コンクールを素晴らしい形で終わることができて良かったです。（宮崎小・O）

練習ではうまくまとまらないこともありましたが、歌声練習を重ねていくごとに、一人一人の目標も明確になってきました。本番の直前にも何回も確認したり合わせをして、不安なところをなくせるよう努力しました。本番では、今までで一番うまく歌い切ることができ、望んでいた結果ではありませんでしたが、「楽しかった」という気持ちが強く表情に表れて良かったと思います。（鰯ヶ崎小・F）

私は、中学校最後の合唱コンクールを終えて3年生としての見本を見せることができたと思います。練習では、曲の分析などを行い、先生と協力して音取りをすることができました。本番では、失敗してしまっただ部分もありましたが、それ以外の部分では練習通りうまくいくことができました。そして、全校最優秀賞を取ることができました。目標を達成することができて良かったです。学年合唱では、一人一人が声を出し、1・2年生のお手本となる歌声で歌うことができました。（中央小・A）

